

令和5年度

補正予算の事業概要

(9月補正予算分)

尾張旭市

令和5年度 補正予算の事業概要（9月補正予算分）

本資料 ページ	事業の概要	事務事業名	担当課名	予算書 ページ
3	特殊詐欺対策装置購入費補助事業を実施します。	防犯啓発事業	市民活動課	15
4	自転車乗車用ヘルメット着用促進事業を推進します。	交通安全啓発事業	市民活動課	15
5	消防車両を更新し、災害対応体制の強化を図ります。	消防車両購入事業	消防総務課	20
6	愛知県とともに「ラーケーション」の導入に向けた実施体制の整備を進めます。	学校教育課庶務事務	学校教育課	20
7~21	チャレンジ事業を実施します。	-	企画課ほか	14~22

特殊詐欺対策装置購入費補助事業を実施します。

市民生活部 市民活動課
交通防犯係
0561-76-8128 (直通)

令和5年度9月補正予算：250千円

高齢者を対象とする特殊詐欺被害が多発していることから、被害の未然防止を図るため、65歳以上の高齢者が特殊詐欺対策電話機等の対象機器を購入する場合に、その費用の一部を補助します。

《特殊詐欺対策装置購入費補助金（新設）》 250千円

【対象者】

市内在住で、令和5年度中に65歳以上となる方

【補助対象機器】

- ・通話録音装置
 - ・着信拒否装置
 - ・通話録音装置の機能又は着信拒否装置の機能を内蔵する固定電話機
- ※「（公財）全国防犯協会連合会の優良防犯電話推奨品」参照

【補助金額】

- ・購入費の1/2で上限5,000円まで
- ・1世帯につき1回限り



自転車乗車用ヘルメット着用促進事業を推進します。

市民生活部 市民活動課
交通防犯係
0561-76-8128 (直通)

令和5年度9月補正予算：700千円

4月1日より自転車乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されたことに伴い、補助対象者が当初の計画より増加の見込みとなったため、「自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金」の予算を増額します。

【対象者】

市内在住で

- ・ 7歳以上18歳以下の児童、生徒等
- ・ 65歳以上の方

【対象となるヘルメット】

- ・ 新品かつ安全性の認証（SGマーク、JCFマークなど）あり
- ※令和3年4月1日以降に購入したもの

【補助金額】

購入費の1/2（上限2,000円）

※1人につき1個まで



消防車両を更新し、災害対応体制の強化を図ります

消防本部 消防総務課
消防整備係
0561-51-0860 (直通)

令和5年度9月補正予算：100,000千円 ※繰越明許費

水槽付消防ポンプ自動車（18年経過）、資機材搬送車（17年経過）及び救急自動車（11年経過）の更新を行います。

- ・ 水槽付消防ポンプ自動車は火災等の災害対応を行う車両であり、最新の装備等により機能強化を図るとともに緊急消防援助隊に登録する車両として更新します。
- ・ 救急自動車は前席（運転席及び助手席）と後席（患者室）を区切る隔壁板を備える等、感染症に対応できる仕様として機能強化を図るとともに、緊急消防援助隊に登録する車両として更新します。
- ・ 資機材搬送車は様々な資機材の運搬が可能な車両として更新します。

事業費内訳

- ・ 水槽付消防ポンプ自動車 58,000千円
- ・ 救急自動車 35,000千円
- ・ 資機材搬送車 7,000千円

【水槽付消防ポンプ自動車】

【資機材搬送車】



【救急自動車】

愛知県とともに「ラーケーション」の導入に向けた実施体制の整備を進めます。

令和5年度9月補正予算：216千円
(総事業費10,848千円)

愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するため、今年度から「ラーケーションの日」がスタートします。

このため、市内の全小中学校を「モデル校」に指定し、その導入に向けた実施体制の整備を進めます。

1 ラーケーションの日（校外学習活動の日）

- (1) 学校に登校しなくても欠席としない
 - (2) 1年間に3日まで（令和5年度は2日まで）取得可能
 - (3) 取得により受けられなかった授業内容は、家庭において事前又は事後に教科書等で自習
- ※ ラーケーション：「学習（ラーニング）」と「休暇（バケーション）」を組み合わせた造語

2 実施期間

令和5年10月から令和6年3月まで

3 事業内容

- (1) 保護者への案内や、実施に必要な資料の作成：216千円
- (2) 学校を休む子どもへの配布物（授業内容）の準備や給食費の会計処理等といった事務の増加に対応する職員の配置：10,632千円

※ 人件費は既定予算で対応



チャレンジ事業を実施します。

令和5年度9月補正予算：8,563千円

職員からのアイデアを募り、積極果敢な挑戦を後押しする職場風土の醸成を図ることで、それらを市政に生かす取組を「チャレンジ事業」として進め、市民サービスの向上や市のブランド価値の向上につなげていきます。



プレゼンテーション審査を通じて、主に「チャレンジの視点」（創意性・熱意・ブランド価値）と「必要性の視点」（事業実施効果など）について評価し、39応募事業のうち19事業を採択し、次の14事業を予算化しました。

■ブランド価値向上・市の発展

- 広報力強化事業（広報広聴課）【p.8】
- トンガ王国交流事業（多様性推進課）【p.9】
- 産業振興ネットワーク形成事業（産業課）【p.10】
- ふるさと大使事業（産業課）【p.11】
- 地域間交流ツアー事業（産業課）【p.12】
- あさびー体操リニューアル配信事業（保育課）【p.13】
- 学校ホリデースポーツ事業（文化スポーツ課）【p.14】

■市民サービス向上

- 市役所庁舎BGM導入事業（総務課）【p.15】
- ペット同室避難実証実験事業（危機管理課）【p.16】
- 読書等応援事業（図書館）【p.17】

■DX推進・効率化

- 財務データ分析・可視化事業（財政課）【p.18】
- 営繕業務DX推進事業（財政課）【p.19】
- 生活保護ケースワーク支援事業（福祉課）【p.20】
- 採点システム導入事業（学校教育課）【p.21】

組織全体の広報力の強化を図り、より分かりやすく
伝わる情報発信を推進します。

企画部 広報広聴課
広報広聴係、市政発信係
0561-76-8106 (直通)
0561-76-8107 (直通)

令和5年度9月補正予算：330千円

職員一人ひとりの広報力を強化するため、専門家による研修を実施します。また、令和6年度に
予定している広報誌のリニューアルに向けて、専門家の意見を取り入れ、より分かりやすく伝わる
情報発信を行います。

～「**つたえる**」から「**つたわる**」へ～

1 情報発信アドバイザー

令和6年5月に予定している広報誌リニューアルに当たり、SNSやホームページとの連携を踏ま
えた効果的な情報発信を行うため、専門家のアドバイスを受けます。

2 情報発信力強化研修

全国広報コンクールで自治体広報日本一へ導いた経験のある専門家を招き、職員一人ひとりの
広報力を強化するため、知識や技能向上の研修を行います。

トンガ王国との交流事業を実施します。

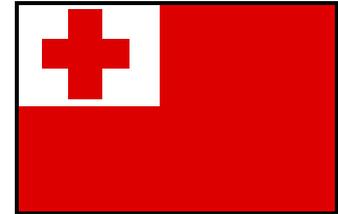
市民生活部 多様性推進課
多文化共生係
0561-76-8125 (直通)

令和5年度9月補正予算：546千円

グローバル化が進む中で、市民が異文化から多様な価値観を知る機会を作るため、令和7年の愛知万博20周年、大阪・関西万博開催に向けて、愛知万博で「一市町村・一国フレンドシップ事業」のパートナーであったトンガ王国との交流事業を実施します。

トンガ王国大使の尾張旭市訪問（322千円）

トンガ沖海底火山噴火の際に募金活動を行った市内小学校などに大使を御案内します。
委託料：217千円 施設借上料：105千円



市民祭におけるトンガ王国のPR（184千円）

トンガ王国について広く知っていただくため、市民祭にトンガ王国ブースを設置します。
報償費：40千円 消耗品費：6千円 印刷製本費：20千円 郵便料：18千円 委託料：100千円

トンガ王国文化紹介交流（40千円）

トンガ王国に関係する人から、食文化などのトンガ文化について学びます。また、子どもたちの未来につながる国際交流事業について話し合います。
報償費：20千円 旅費：10千円 消耗品費：10千円

産業振興ネットワーク形成に向けて交流会を開催します。

市民生活部 産業課
商工振興係
0561-76-8132 (直通)

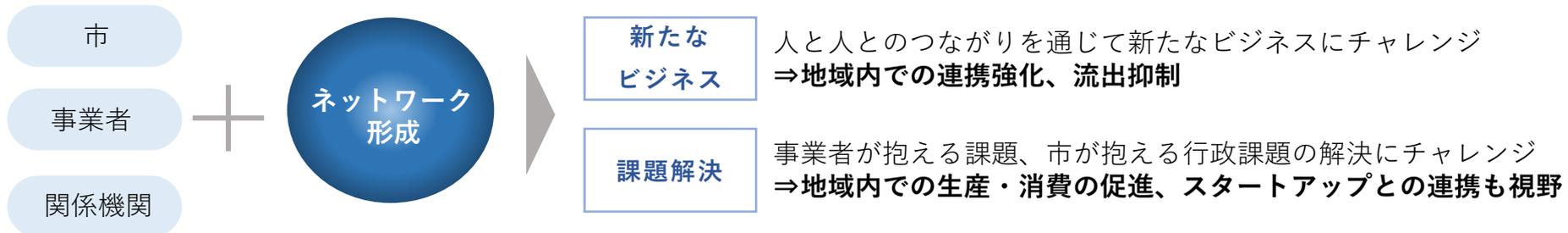
令和5年度9月補正予算：1,000千円 ※繰越明許費

地域経済の活性化に向けて、様々な関係者が新たなビジネスの創出につながるようなネットワークの形成を目指して、交流会を開催します。

●事業内容

- ・市が主体となって、事業者、商工会・観光協会、金融機関などの垣根を取り払った交流会を、様々なテーマで開催（5回を予定）
- ・交流会は市内の民間施設を活用し、平日夜間に最大25人程度での開催を想定
- ・交流会を通じて、ネットワークの形成、ビジネス創出や互いの課題解決につながるマッチングを促進し、地域経済の活性化を目指します。

地域経済の活性化



市民生活部 産業課
にぎわい交流係
0561-76-8137 (直通)

DA PUMPのTOMO氏にふるさと大使として活動していただき、にぎわいを創出します。

令和5年度9月補正予算：2,300千円 ※繰越明許費

ふるさと尾張旭の魅力を発信し、にぎわいの創出やイメージアップを図るため、本市出身で旭色プロジェクト等に協力していただき県外からも反響があった、DA PUMPのTOMO氏に「尾張旭市ふるさと大使」を委嘱します。

就任後は、大使による自主的なPR活動等に加え、イベントへの参加や得意分野を生かした活動を展開します。

【主な活動内容】

- ・本市の魅力の発信
- ・市が提供するPR用資材（名刺等）を活用したPR
- ・市が依頼するイベント等への参加やPR動画の制作等

※大使による自主的なPR等は無償

【今後の予定】

- ・広く市民等に知っていただくため、令和6年さくらまつりでお披露目式と記念イベントを実施
- ・令和6年度は、イベントへの参加や、TOMO氏の得意とするダンスや振り付けを生かしたPR動画の制作等を実施



【TOMO氏について】

- ・2008年にDA PUMPに加入し、楽曲の振り付けなども担当
- ・市内の小・中学校を卒業し、無形民俗文化財の棒の手も経験

輪島市の白米千枚田で行われる田植えに参加し、地域間交流を推進します。

市民生活部 産業課
にぎわい交流係
0561-76-8137 (直通)

令和5年度9月補正予算：600千円 ※繰越明許費

「大規模災害時等における相互応援に関する協定」を締結している石川県輪島市との地域間交流の一環として、白米千枚田（しろよねせんまいだ）で行われる田植えに参加するツアーを開催し、市民間での交流を推進します。

【田植えツアーの概要】

バスツアー及びマイカープランを設定します。

日 程：令和6年5月上旬 1泊2日
1日目 尾張旭⇒輪島市にて交流会
2日目 輪島市朝市散策⇒田植え⇒尾張旭

対 象 者：市内在住を優先（参加費の一部を支援）

○バスツアー（往復バス、宿泊、田植え等）

募集人数：40人 参加費用：1万7千円前後

○マイカープラン（宿泊、田植え等）

募集人数：10人 参加費用：1～2万円（宿泊先による）

【今後のスケジュール】

令和5年 11月 田植え日程決定、行程調整開始

令和6年 2～3月 参加者募集

5月 ツアー実施（地域間交流）



白米千枚田は、輪島市にある棚田です。国指定文化財名勝に指定され、奥能登を代表する観光スポットとして親しまれています。本市がオーナーの「マイ田んぼ」があります。

あさびー体操を映像化し、普及を図ります。

こども子育て部 保育課
 保育所支援係
 0561-76-8147 (直通)

令和5年度9月補正予算：668千円 ※繰越明許費

市制40周年記念事業として、平成21年度に保育士有志が考案した「あさびー体操」を、誰もが楽しめるよう映像化し配信します。

概要

- ・ 吹奏楽団が演奏したあさびー体操曲を録音
- ・ 体操曲に合わせて元気に体操する園児の様子を撮影し、配信することで周知を図る。
- ・ 肢体不自由児や高齢者等、誰でも取り組むことができるよう椅子に座ったままできる体操バージョンも作成



学校ホリデースポーツイベントを実施します。

教育委員会 文化スポーツ課
 スポーツ係
 0561-76-8183 (直通)

令和5年度9月補正予算：500千円

県民の日学校ホリデーの企画として、小学生を対象としたスポーツイベントを開催します。

●日時及び場所

令和5年11月24日（金）10時～ 総合体育館アリーナ

●イベント

第1部 中日ドラゴンズOB選手を招いてストラックアウトなど競って楽しむイベント

第2部 名古屋オーシャンズによるフットサル教室
 （第一線で活躍する選手と交流します。）



●費用の内訳

委託費 500,000円

●学校ホリデーの趣旨

家庭及び地域における体験的な学習活動
 その他の学習活動のための学校休業日



総務部 総務課
行政係
0561-76-8111 (直通)

市役所庁舎においてBGM放送を試行的に実施します。

令和5年度9月補正予算：167千円

市役所庁舎において、来庁者へのサービス向上と職員の職場環境の改善を図るため、試行的にBGM放送を実施します。

BGMには曲のテンポによって落ち着きや高揚感を感じられるメンタルヘルス効果や、音のカーテンにより周囲へ会話の内容を聞こえづらくするマスキング効果など、様々な効果があると言われています。

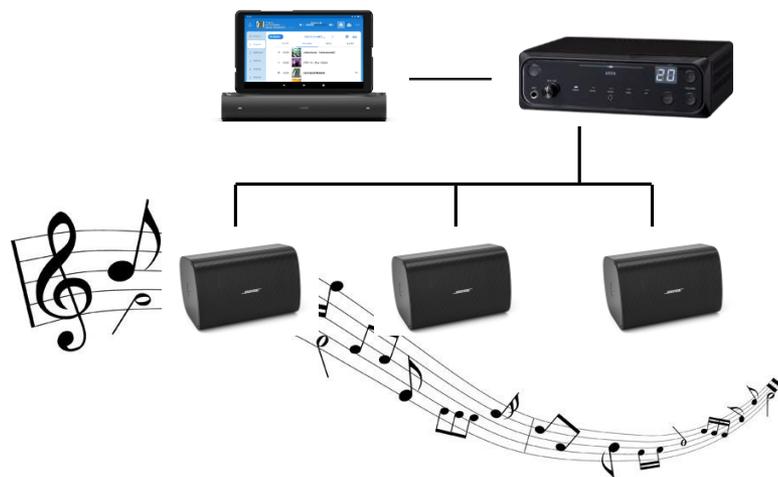
そのような効果が期待されるBGMを市役所庁舎で放送することで、来庁者にとっては、窓口での待ち時間をリラックスして過ごせるとともに、相談内容が周囲へ聞こえづらくすることで相談しやすい環境を提供します。また、職員にとっても、集中力の向上や職員間でのコミュニケーションの促進など、職場環境の改善を図ります。

【放送箇所】

市役所南庁舎1階

【試行期間】

令和5月11月～令和7年10月（24か月）



ペット同室避難の実証実験を行います。

令和5年度9月補正予算：300千円

大規模災害時には、長期にわたり避難生活を送ることとなりますが、犬や猫などのペットの避難については、受入方法など大きな課題があります。

災害という非常時にあっても、ペットをめぐるトラブルを最小化し、ともに災害を乗り越えられるよう、「ペット同室避難」の実証実験を行い、ペットの避難方法の課題や準備しておくべき事案を確認して、より具体的なペットの避難対策を検討します。



●実証実験の概要について

実施日時：令和6年2月（予定）

実施場所：地域消防防災施設ほんまる（予定）

実施方法：①ペットを飼育する市民の方に、ペットと一緒に参加いただき、避難時の受付を含めた避難訓練や、避難所での過ごし方を体験いただく。

②参加者にアンケートを実施し、ペット同室避難の課題や、必要な資機材を聴取する。

その他：獣医師などの専門家に協力を依頼し、実証実験の実施方法や、実験後の課題解決に向けた助言をいただきます。

ティーンズの読書環境を整備します。

令和5年度9月補正予算：570千円

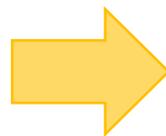
読書活動は、将来を担う子どもたちが健やかに成長し、自らの人生を切り拓いていくための大きな支えとなります。

読書の機会が少ないティーンズ（中高生をはじめとする10代の利用者）を対象に、必要な学びの場や機会を提供するとともに、読書の推進及び図書館利用の促進を図ります。

図書館 参考室の机を プライバシー等に配慮した個別ブース型の席に変更します。

ブース型座席一式購入費（設置費及び既設撤去費を含む） 570千円

【現状】



【完成イメージ】



財務データの分析・可視化を推進します。

総務部 財政課
 財政係
 0561-76-8113 (直通)

令和5年度9月補正予算：550千円 ※繰越明許費

B I ツール（ビジネスインテリジェンスツール）を利用して、財務データの分析・可視化を行い、証拠に基づく政策立案（E B P M）の推進や、分かりやすい財務情報の公表等に活用します。

【事業概要】

- ・ データ分析ツールを活用し、財務データの分析・可視化を実施
- ・ 可視化された財務データを従来よりも分かりやすい内容で、ホームページ等で情報発信

【事業効果】

- ・ 予算編成等における証拠に基づく政策立案（E B P M）を推進
- ・ 情報発信力の強化
- ・ 「透明性」のある行財政運営の推進

【事業費】

データ分析ツール使用料 550千円（1年間）



営繕業務のDX化を推進します。

総務部 財政課
施設係
0561-76-8115 (直通)

令和5年度9月補正予算：550千円

営繕業務におけるDX化を推進し、建設現場での働き方改革、生産性向上を図るため、情報通信資機材を整備します。

【事業内容・効果】

タブレット等の情報通信資機材を整備することで、工事現場における立会いなどの現場確認業務リモート化や情報共有システムの活用を推進し、受発注者の業務効率化による建設現場の働き方改革、生産性向上を図ります。

【事業費】

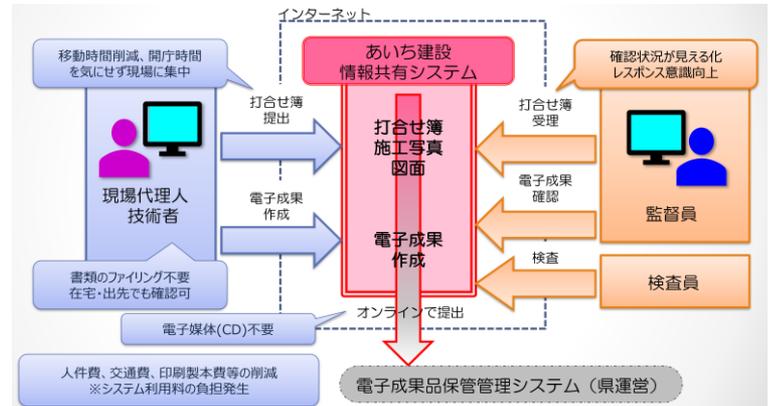
ウェアラブルカメラ、タブレット端末購入・通信費
550千円

■ 遠隔臨場のイメージ



出典：国土交通省

■ 情報共有システムのイメージ



出典：愛知県

健康福祉部 福祉課
社会福祉係
0561-76-8141 (直通)

生活保護の相談業務の効率化と市民サービスの向上を図ります。

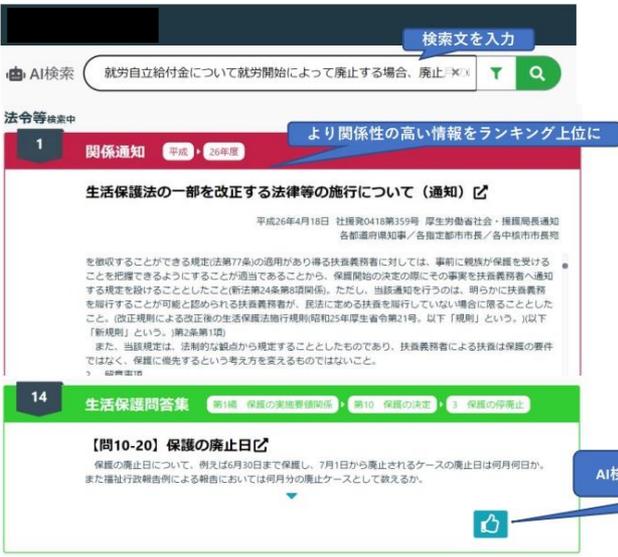
令和5年度9月補正予算：317千円

AIを活用した生活保護ケースワーク支援システムを新たに導入し、業務の効率化及び市民サービスの向上を図ります。

●生活保護ケースワーク支援システム

検索ボックスに、キーワードや質問文を入力することにより、生活保護の法令通知や実施要領等の膨大な資料の中から、AIが最適な回答候補を瞬時に提示します。これにより、生活保護に関する業務の効率化と法令判断の正確性の向上を図ります。

▼AI検索



▼キーワード検索



AI検索結果に対して評価をいただくことで検索精度が向上します。

中学校にAIを活用した採点システムを試行的に導入します。

令和5年度9月補正予算：165千円

AIを活用した採点システムの導入により、中学校におけるテストの採点業務を効率化することで、教員の業務負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保します。

●採点システムの概要

- ・定期テスト、小テスト、記述式、マークシート式あらゆる答案用紙に対応
- ・スキャンにより、AIが自動で答えを読み取り、ワンクリックで採点
- ・同一設問の一覧化により、同時に複数の教員による採点（分担化）が可能
- ・何回使っても定額料金

●導入メリット

- ・自動化、分担化で採点業務の負担を軽減⇒子どもに向き合う時間増
- ・採点ブレが起きず、公平な採点を実現 ⇒採点の正確性が向上
- ・システムによるクロス集計分析等の活用⇒適切な指導に有効

●事業費

- 165千円（東中6か月分、旭中・西中3か月分）
- ※1校当たり13,750円/月（ライセンス使用料）

